

大阪大学図書館報

Vol. 10, No. 5/6 February 1977

目

- 図書の量と質
- 高田前館長のあしあと
- 研究用洋書著者目録編成さる
- 教官著作寄贈図書
- 本館受入参考図書

次

- 会議
- 分館だより
- 日程
- 人事

図書の量と質

宮本匡章

大学院時代の友人が、久し振りに研究室にやってきた。彼は修士になった後、実務界に入った男である。しばらく書架の本を眺めてから、「同じような本がべらぼうに多いなあ。これを全部読まなきあ、学者にはなれないのかい?」と耳の痛いことを言い出した。私達の学生時代には、専門書を買う資金に苦労した。しかし、最も切実な問題は、重要な書物が必要な時に購入できないということであった。彼が学校を離れるとき、数冊の専門書を私に残してくれた。それがどんなにうれしかったことか。それだけに、限られた本をじっくり読んだものであった。

今はどうであろうか。余りにも多い情報ないし図書に、ふり廻わされている感がする。確かに、それぞれの図書には、それなりの価値を認めることができる。しかし、時間が有限である以上、そのすべてを読むわけにはいかない。極端な例ではあるが、専門上魅力的な書名の本が実にくだらない内容のものであったり、ほとんど無関係と思われる分野での書物が、極めて重要な示唆を与えてくれるといったことがおこりうる。そこで、個々の研究者は、図書館での確立された整理システム以外に、潜在的なものではあるが、図書の整理と評価に関する独自のシステムを創り出さねばならないのである。この潜在システムへの要求は、過去にもあったはずである。しかし、今日におけるその重要性は、過去の比ではない。しかも、

このシステムの内容が、研究者の能力を評価する決定的要因とみなされるほどの意味をもつのである。

こんな説明とも弁解ともつかぬことを彼にしゃべった後に、「読まなくてもよいのは、こんなものだよ。」と教えることも、教育者の大切な仕事の1つになるのかも知れない、と笑い合つたものである。

(経済学部教授)

高田前館長のあしあと

高田前館長は、客年11月30日付けで3年の任期を満了され、図書館長を辞任されました。その在任期間は、情報化時代に果すべき図書館の役割り、在り方が、世に大きな論議的となり、大学図書館の改善が強く要請されていた秋であり、また、学内的にも本館施設が飛躍的に整備・拡充されてなお日も浅いことゆえ、組織・職員・予算および機能にわたり緊急に改善・充実を迫られているときで、まさに、多くの当面する諸課題がございました。

したがって、学内外ともにきわめて多難などきに在任されたと申しあげることができます。

その間、先生は、館務に熱誠・真摯に、かつ堅実にあたられ、当面の諸問題を逐次解決されました。ここに先生の在任中に果された多大の御業績のうち主なるものを挙げまして、その御努力に対しまして深謝申しあげますとともに、今後とも本学附属図書館の発展に御力添えくださいますようお願い申しあげます。

一、本学附属図書館の整備・充実

1. 組織・機構の整備・拡充

- (1) 大阪大学附属図書館体系検討小委員会の設置（昭50. 7. 22）以降図書館組織体系の検討

ア 中間報告（昭51. 2. 24）主として分館体系の展望

イ 第2次中間報告（昭51. 9. 20）主として分室の在り方の不均衡是正

ウ 大阪大学図書館の歴史と現状についての資料集の作成・発表

- (2) 薬学部分館長選考規程および同分館運営委員会規定の制定（昭51. 9. 22）
- (3) 吹田分館目録掛の新設（昭51. 4. 1）
- (4) 理学部分室と基礎工学部分室との機能の調整（昭49. 7. 23）

2. 附属図書館財政の合理化

- (1) 運営費にかかる部局分担金據出制度を全廃し、本館・分館運営費の集中化処理方式の確立（昭50. 7. 18）

- (2) 運営費および事業費の本館・分館別割当基準の改訂ならびに代行機関の設置により予算執行の合理化・効率化の実現（昭50. 7. 22）

- (3) 運営費および事業費予算の増額

3. 図書館事業活動の拡充強化

- (1) 学生用図書・特別図書・基本参考図書等の予算の増額により、それらの図書・資料の格段の整備・充実が図られたほかに、つぎにかかげる特殊な事

項の整備・充実がなされた。

- ア 懐徳堂等資料の保存・整備のための曝書・防虫・分類・再配架およびコーナーの整備（昭50. 8. 5～8. 16（10日間）（昭51. 8. 2～8. 10）（7日間））
- イ 研究閲覧棟の未整理図書の再整理完了および3層から5層までの図書をN・D・Cによる再配架の実施（昭和49年度）
- ウ O E C D 刊行物の新規購入（昭和49年度より新規購入）
- エ 学内・外の相互協力事業の推進
- オ コンピュータ編集にかかる大阪大学現行受入欧文雑誌リスト・学術雑誌目録（欧文編・1974年度版）の刊行
- カ いちょう祭に文・法・経済学部・教養部および図書館と共に開催で展示会を、昭和48年度以降毎年大学記念日を中心として開催。

4. 施設・設備の整備・充実

- (1) 大阪大学附属図書館施設整備長期計画の立案（昭50. 6. 23）
- (2) 旧館1階の改修および館内環境の整備・充実（昭49. 1. 18～49. 3. 30）
- (3) 中之島分館暖房設備の更新（昭51. 12. 10）
- (4) 湯川記念室を本館へ移転（昭51. 4. 1）
- (5) マイクロフィルム自動現像装置の新規購入（昭51. 2. 10）

二、館長としての対外活動

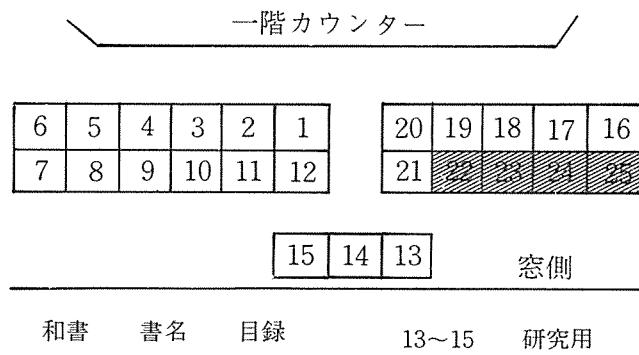
1. 国立大学図書館協議会第2部会長、常務理事として本協議会の発展に貢献された。
2. 大学図書館国際連絡委員会委員として、第2回日米大学図書館会議の事後措置と第3回会議の実施計画に参画された。
3. 大学図書館基本問題特別委員会委員として、当面する大学図書館問題の審議にあたられた。
4. 研究者の情報要求と利用に関する特別委員会委員として、アンケート調査の実施に参画された。
5. 第3回日米大学図書館会議実行委員会委員として、同会議の受入・準備・実施に参画された。
6. 国立大学図書館協議会総会（山口）研究集会議長を担当された。
7. 国立大学図書館協議会総会（名古屋）第2分科会主査として、予算・人事問題に関する要望書をとりまとめられた。
8. 近畿地区国公立大学図書館協議会の幹事として、また、図書館業務に関する機械化委員会主査を担当された。
9. 諸外国からの本学図書館視察者との交歓を行われた。〔13ヶ国（米・英・佛・豪・比・韓国・中国・インドネシア・タイ・スリーランカ・ベトナム・マレーシア・台湾等）49人〕
10. 国内大学図書館・国会図書館・研究図書館および図書館関係団体との連携協調をすすめられた。

研究用洋書著者目録編成さる

昨年度の夏休みのアルバイトを入れての作業、秋の担当係員の作業により、研究用洋書著者目録が完成しましたので、ここに報告致します。

それ以前の、阪大本館における目録編成は、1階（カウンター前）に設置してある和洋閲覧用著者目録、同書名目録、同分類目録、和洋研究用書名目録、2階（参考掛カウンター前）に設置してある総合目録—これは各分館よりの基本カード、本館における基本カード、著者関係副分出カードより編成されている—の5種類より成り、研究用著者目録という独立したもののがなく、洋書については総合目録の中に含まれており、総合目録を複雑、厖大にしている一方、研究者、利用者の不便を来していました。ここに研究用洋書著者目録を独立して作り、総合目録は本館、分館よりの基本カード1枚づつの編成に留める事になりました。これは、研究用書名目録と同様、47年度からの編成で、1階に設置します。基本的な目録である、著者目録、書名目録が完備し、同じフロアに置かれるることは、意義深く、今後のカード利用に際し非常に便利になったことと思います。

1階目録配置図



1～5	閲覧用	和書	書名	目録	13～15	研究用	和書	書名	目録
6	〃	洋書	書名	〃	16～20	〃	洋書	〃	〃
	〃	〃	分類	〃	21	仏図書・OECD関係図書			〃
7, 8	〃	和書	分類	〃	22～25	研究用	洋書	著者	〃
9～12	〃	〃	著者	〃					

この研究用洋書著者目録には、著者、共著者、編者、共編者、被伝者、会議名、団体名…等が含まれており、配列においてのポイントは次のようになっております。

- アルファベット順配列。
- 語順配列。
- 姓によって、次いで名によって配列。中に接頭語を持つ姓は1語の配列に、複合姓は一語の姓の次に配列。ハイフンで結ばれている場合は無視してこれに準ずる。
- 同一著者（その他これに該当する編者等）の場合は書名順。この場合冒頭にある一格の冠詞は無視する。
- 被伝者の場合のカードは、標目のアルファベット順配列として、該当する著編者カードの後に置く。

カード配列例

1. Shaker, Farid.
L'agent du Caire.
2. Shakespear, Ronald.
Caras y caritas, fatos de Ronald Shakespear.
3. Shakespear, William.
All's well that ends well.
4. Shakespear, William.
Hamlet.
5. Shakespear, William.
King Lear.
6. Aboott, E. A.
A Shakespearian grammar.
(Shakespear, William)
7. Badawi, M.
Coleridge; Critic of Shakespeare.
(Shakespear, William)
8. Baldwin, Thomas Whitfield.
William Shakespear adapts a hanging.
(B)
9. Ridley, M. R.
William Shakespear; a commentary.
(B)

研究用著者目録の完成したことを機に、本館に置かれている目録の理解を深めることと、
おおいに活用していただけることを期待します。カードの繰り込み作業は掛員一同で定期的に
かかり、本が整理された早い時点でカードが入るよう努力するつもりです。

教官著作寄贈図書

—本館—

熊谷 開作 (法・教授)

日本土地私有制の展開

(ミネルヴァ書房 昭和51)

—理学部図書室—

山中 健生 (理・助教授)

進化生化学序説 (講談社 昭51)

田所 宏行 (理・教授)

高分子の構造 (化学同人 昭51)

—吹田分館—

竹本 喜一 (工・教授)

高分子触媒 竹本喜一、国武豊喜

今西幸男、清水剛夫 共著 (講談社 昭51)

本館受入参考図書

(昭和51年9月～昭和52年1月)

◇ 総 記 ◇

- | | | |
|---|-----------|--|
| 中華民国出版年鑑 | (中国出版公司) | 教養経済学辞典 大河内一男等編
(青林書院) |
| 東北大学所蔵和漢書古典分類目録、和書、上 | | 人口ハンドブック (人口問題研究会) |
| （東北大学附属図書館） | | 国勢調査による大阪府流動人口の集計
(大阪府企画部統計課) |
| アメリカ関係図書展示目録 | | 大阪市の昼間人口 (大阪市総合計画局) |
| （京都外国語大学附属図書館） | | 地域メッシュ統計報告、昭和45年国勢調査
結果、北海道及び東北地方
(総理府統計局) |
| Dictionar enciclopedic român. Vol. 4. | | 地域メッシュ統計地図、昭和45年国勢調査
結果、中国・四国及び九州地方
(総理府統計局) |
| （Editura Politică） | | 世界教育事典 (帝国地方行政学会) |
| Eesti noukogude entsüklopeedia. | | 一橋大学年譜、1 (一橋大学) |
| Vol. 1, 7. (Valgus) | | Scientific research in British
universities and colleges, 1973-74.
(H. M. S. O) |
| Encyklopedia powszechna PWN. Vol. 3. | | Итоги всесоюзной переписи населения
1959 года, РСФСР. Том 1-6, 8-16.
(Kraus Reprint) |
| (Państwowe Wydawnictwo Naukowe) | | |
| Great Soviet encyclopedia. Vol. 6-10. | | |
| (Macmillan) | | |
| Meyers neues Lexikon. Bd. 11-13. | | |
| (VEB Bibliographisches Institut) | | |
| Армянская Советская энциклопедия. Том 1. | | |
| (А.Н. Армянской ССР) | | |
| Беларуская савецкая энцыклапедыя. Том 11. | | |
| (А. Н. БССР) | | |
| Большая Советская энциклопедия. | | |
| Том. 20-23. (Советская Энциклопедия) | | |
| Енциклопедия Советикэ Молдовеняскэ. | | |
| Том. 4 (Редакция Принципалэ) | | |
| Грузинская Советская энциклопедия. Том 1. | | |
| Узбек Совет энциклопедияси. Том 4, 6. | | |
| (Узбекискон ССР фанлар Академияси) | | |
| ◇ 歴 史 ◇ | | |
| 漢日欧対照世界人名辞典 | | |
| (鹿児島短期大学附属南日本文化研究所) | | |
| 中国本土地図目録、布目潮風、他共編 | | |
| (大阪大学文学部アジア史研究会) | | |
| ◇ 社会科学 ◇ | | |
| 太政類典目録 中 | (国立公文書館) | |
| 経済新語辞典 | (日本経済新聞社) | |
| 経済問題の基礎知識 1975年版 | (ダイヤモンド社) | |
| ◇ 工学・技術 ◇ | | |
| 国際電気通信関係略語集 | | |
| | | (国際電信電話株式会社) |
| Encyclopedia of computer science and | | |
| technology. Vol. 1-4. (Dekker) | | |
| ◇ 芸 術 ◇ | | |
| 競馬百科 | | (日本中央競馬会) |
| ◇ 語 学 ◇ | | |
| モン語語彙集、坂本恭章著 (東京外国語
大学アジア・アフリカ言語文化研究所) | | |
| Wörterbuch der deutschen
Gegenwartssprache. Bd. 3-4. | | (Akademie) |
| English-Bulgarian dictionary. Vol. 2. | | |
| (Bulgarian Academy of Sciences) | | |
| ◇ 文 学 ◇ | | |
| 国文学研究文献目録 (国文学研究資料館) | | |
| フランス文学辞典 | | (白水社) |

◇ 逐次刊行物 ◇

Библиография изданий Академии наук
СССР. ежегодник, Том 18. 1975.
慶應義塾年鑑 昭和48年度

鉄道要覧 昭和50年度 (日本国有鉄道)
船協海運年報 1975 (日本船主協会)
自衛隊装備年鑑 1976 (朝雲新聞社)

会議

—附属図書館豊中地区運営委員会—

51. 9. 17(金)13:30~16:00 本館会議室

1. 昭和51年度図書館予算配分調書について

予算配分調書に基づき、事業費及び運営費について説明報告があった。

2. 基本参考図書整備のあり方について

これまで基本参考図書は、地区運営委員会に諮らずに選書を行っていたが、今後は利用者のニーズを取り入れ、豊中地区における基本参考図書の選書等は地区運営委員会に諮り実施することになり、52年度からこの方針に沿って行うことになった。

—附属図書館体系検討小委員会—

51. 9. 20(月)14:40~16:10 吹田分館会議室

附属図書館体系検討小委員会第2次中間報告案について

館長から第2次中間報告案を作成したので検討してもらいたい旨の発言と同案の説明が行われ、引き続き各委員に意見を求められ、種々検討の結果、原案を一部修正して決定された。

—分館長会議—

基本参考図書の整備について

51. 10. 12(火)10:40~11:20 館長室

基本参考図書のこれまでの経緯について説明があり、豊中地区における基本参考図書の整備について、9月13日開催の豊中地区運営委員会で決定した旨の報告があった。なお、これに関し、中之島、吹田両分館長から、全学共通の基準を設けて実施すべきではないかとの提案がなされ、審議の結果、全学共通の基本参考図書に関する整備基準の作成を検討することとなった。

—図書館委員会—

51. 10. 18(月)14:00~15:30 本館会議室

1. 薬学部分館長候補者選考規程及び薬学部分館運営委員会規程の制定について

のことについて、館長から7月20日開催の図書館委員会で両規程を制定することが了承され、9月22日開催の評議会で両規程が異議なく承認された旨の報告があった。

2. 体系検討小委員会第2次中間報告について

第2次中間報告の要点は、既存の分室の不均衡是正及び分室の設置基準、ならびに研究者に対する図書館サービスの強化にあること、また体系検討小委員会に提出された資料を別冊データ集としてまとめたので参考に供したい旨説明があった。

3. 次期附属図書館長候補者の選定について

大阪大学附属図書館長選考基準に基づいて、投票が行われ、文学部山田信夫教授を次期館長候補者として推薦することが決定された。

——分館長会議——

52. 1. 20(木)10:00~12:00 待兼山会館

1. 学生用図書費の追加配分について

昭和51年度学生用購入費追加額 8,954千円の割り当て計画について協議、決定され、次回の図書館委員会に諮られることになった。

2. 基本参考図書の整備について

基本参考図書の選定基準と選定手続について、全学的な視点に立った原案が提案、協議の結果、各地区運営委員会で原案を検討のうえ、次回の分館長会議に諮られることとなった。

——開架図書選択小委員会——

52. 1. 31(月)14:00~15:00 本館会議室

1. 開架図書整備費の執行状況について

昭和51年度開架図書費予算の執行状況について報告、了承された。

2. 開架図書購入費予算の在り方について

開架図書購入費のうち、特に「教養図書」の在り方について討議された。

——附属図書館豊中地区運営委員会——

52. 1. 31(月)15:10~17:00 本館会議室

1. 体系検討小委員会の委員の選出について

新委員に、理学部の森田正人教授が選出された。

2. 基本参考図書の整備について

基本参考図書の選定基準と選定手続について協議が行なわれ、次回の図書館委員会に諮られることとなった。

3. 開架図書購入費予算の在り方について

開架図書購入費のうち、特に「教養図書」の在り方について協議された。

——分館だより——**——薬学部会館——**

三浦前分館長は昭和51年12月19日付けで任期を満了され、新分館長に佐々木喜男教授（薬品分析化学講座）が就任されました。任期は昭和51年12月20日から2年間。

日 程

51. 9. 7. 第13回大学図書館国際連絡委員会総会 (東京大学附属図書館)
 51. 9. 10. 近畿地区国公立大学図書館協議会 第1回館長懇談会 事務部長会議 (京都市)
 51. 9. 17. 附属図書館豊中地区運営委員会 (本館会議室)
 51. 9. 20. 図書館体系検討小委員会 (吹田分館会議室)
 51. 9.21~22. 国立七大学図書館協議会 協議会 部課長会議 (鳥羽いそぶえ荘)
 51. 9. 24. 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会 (大阪教育大学附属図書館)
 51. 9. 30. 第8回近畿地区医学図書館協議会例会 (兵庫医科大学)
 51. 10. 12. 分館長会議 (本館会議室)
 51. 10. 13~14. 第47回日本医学図書館協会総会 (鹿児島市)
 51. 10. 15. 国立大学図書館協議会 昭和51年度第2回常務理事会 (広島大学附属図書館)
 51. 10. 15. ノ タ 昭和52年度岸本奨励賞受賞者選考委員会 ()
 51. 10. 15. ノ タ 昭和51年度第1回理事会 ()
 51. 10. 16. ノ タ 大学図書館改善調査研究班第16回会議 ()
 51. 10. 18. 図書館委員会 (本館会議室)
 51. 10. 18. 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会 (本館会議室)
 51. 11. 16. ノ タ 図書館統計に関する委員会 (奈良女子大学附属図書館)
 51. 11. 25. ノ タ 図書館業務の機械化に関する委員会 (京都大学附属図書館)
 51. 12. 3. ノ タ 企画委員会 (大阪市立大学附属図書館)
 51. 12. 13. ノ タ 図書館統計に関する委員会 (京都大学楽友会館)
 52. 1. 20. 分館長会議 (待兼山会館)
 52. 1. 24. 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会 (大阪府立大学附属図書館)
 52. 1. 31. 附属図書館豊中地区運営委員会 (本館会議室)
 52. 1. 31. 開架図書選択小委員会 ()

人 事

大阪大学附属図書館長更迭

任期満了 経済学部 教授 高田 馨 51. 11. 30
 館長就任 文学部 ノ タ 山田信夫 52. 12. 1

来訪者

51. 8. 24 武居良明（信州大学附属図書館長）
51. 9. 9 三浦猛夫（民族学博物館技術室長）
51. 9. 17 橋本和美（明治大学教授、計算センター主任）外5名
51. 9. 29 K. Barr博士（英國国立図書館貸出部長代理）外2名
51. 10. 26 伊藤丈夫（滋賀県立米原高等学校長）外教職員及びPTA会員35名
51. 10. 29 鳴海 元（広島大学附属図書館長）
51. 11. 4 伊藤恵三郎（鳥取大学附属図書館事務長）外2名
51. 11. 11 ヨージン、ガバリオ（カンサス大学東亜図書館長）
51. 11. 29 中華民国青年友好訪問団11名

職員の異動

- 採用 事務補佐員 青山 功 51. 9. 1 整理課 目録掛
辞職 事務補佐員 青山 功 51. 10. 16 ツ ツ
ツ ツ 岩手秀平 51. 11. 30 閲覧課 参考掛
採用 ツ 楠本辰作 51. 12. 4 ツ ツ
配置換 事務補佐員 林 温子 51. 12. 31 レーザー核融合研究センターへ

訂正 前号5頁「附属図書館中之島分館運営委員会委員名簿」のなかで、歯学部、猪木教授は猪木助教授の誤りでした。お詫びして訂正します。